

2022 年度女性化学者奨励賞候補者推薦方法について (部会及びディビジョン推薦)

公益社団法人 日本化学会

1. 賞の対象

賞の対象は、表彰規程および女性化学者奨励賞選考委員会規則により、つぎのとおり定められている。

- (1) 女性化学者奨励賞は、化学の専門性を活かした学術研究に傑出した業績と貢献がある者で、社会貢献にも務め、国内外での研究活動・交流を通して我が国の女性化学者の地位向上に寄与し、将来の科学者・技術者を目指す学生や若手研究者の目標となる本会女性の会員を対象とし、年齢が受賞の年(2023年)の4月1日現在において満40歳に達していない者に授与する。
- (2) 女性化学者奨励賞は、他の賞を受けた者も授賞の対象とすることができる。

2. 提出書類 [返却しない] ※ (1) (2) は別紙様式を使用、15部 (両面コピー) 提出

- (1) 会長あて候補者推薦書
- (2) 候補者調書
 - ・研究歴 (職歴を含む)
 - ・業績内容の説明
 - ・業績リスト
- (3) 女性化学者奨励賞受賞候補対象論文・総説のうち5報以内の別刷 (コピー可) を各15部用意し、審査用に各論文を1部ずつまとめたもの (1セット) を 計 15 セット用意する。

3. 書類作成上の注意

別紙「候補者調書の作成にあたって」参照。

4. 推薦書提出先および提出締切日

提出先：〒101-8307 東京都千代田区神田駿河台 1-5
公益社団法人 日本化学会 総務部 賞係
締切日：8月31日 (水) [必着]

5. 2022 年度選考委員会開催日

2022年10月25日 (火)

6. 受賞者の発表および表彰

- (1) 受賞者の発表
本会ホームページにて受賞者および受賞題目を発表する。
その他、「化学と工業」3月号で関連記事を発表する。
- (2) 表彰
翌年3月の春季年会会期中の表彰式にて表彰を行う。

7. 受賞後にお願いしたいこと

- ・翌年3月の春季年会会期中に受賞講演等を依頼する。

☆本会では、候補者推薦書の内容及び委員会での審議内容に関し、秘密を保持いたします。
なお、受賞の方は受賞が決定するまで、公表を控えていただけますようお願いいたします。

【追記事項】

本賞受賞者は、同年度の長倉三郎賞受賞候補者になりますことをご承知おきください。
そのための事務的な手続き等は不要です。

以 上

女性化学者奨励賞

候補者調書の作成にあたって

1. 別紙様式を使用。作成の場合は A4 判用紙、余白は左右約 2.5 cm のこと。
2. フォントサイズはタイトルを除いて 10~12 ポイント、1 ページの行数は 40 字×40 行程度の横書きとすること。
3. 年号は全て西暦で統一すること。
4. 「会長あて候補者推薦書」を 1 頁目とし、以下「研究歴（職歴を含む）」「業績内容の説明」「業績リスト」の順とし、用紙下部中央に通し頁を記入すること。
5. 「会長あて候補者推薦書」の推薦部会、部会長の欄および推薦ディビジョン、ディビジョン主査の欄は、推薦書作成者（または候補者）が記入すること。
6. 候補者氏名、勤務先と職名欄は日本語と英語を記載すること。

（記入例）

候補者氏名	(ふりがな) かがく はなこ	会員番号	
	(日本語) 化学 花子 (英語) Hanako Kagaku	生年月日	西暦 年 月 日
勤務先と職名	(日本語) 東京大学大学院理学系研究科化学専攻：教授 (英語) Department of Chemistry, Graduate School of Science, The University of Tokyo : Professor		

7. 「業績内容の説明」では、参考文献を別として①研究成果の概要を 1,400 字以内に、②化学の専門性を活かした研究の特色、独創性、国内外における当該研究の位置づけ、研究状況、国内外での研究活動・交流を通して我が国の女性化学者の地位向上に寄与したことなどを、反応式、構造式、図・表などを含めて具体的かつ簡潔に A4 判用紙 4~5 枚程度（8000 字以内）にまとめる。

なお、候補者の業績が共同グループによる研究であって、過去にそのグループの業績に対して本会の賞が授与されている場合は、賞名、年次、受賞者名、題目を説明書の末尾に付記すること。

8. 「業績リスト」では、当該研究に関連のある主要な論文（総説を含む）20 件以内のリストを論文、総説、著書などを区別して記載する。なお、提出論文には○印を付すこと。

- ・印刷中(in press)の査読論文（審査のある論文）は、DOI を記載するか、採用決定通知コピーを提出することで、論文・報文リストに加えることができる。投稿中 (submitted) の論文は記載できない。
- ・論文誌でないもの（たとえば「化学と工業」）に掲載されたものは解説記事として取り扱い、査読論文と区別する。国内、国際会議での口頭発表、招待講演は書かない。
- ・共著論文に関しては、候補者が総括研究者、または研究担当者である場合は〔主〕を、研究協力者である場合は〔協〕をその論文の末尾に付ける。

〔例〕 (35) Molecular-Sieve Type Sorption on Alkali Graphites, M.Wada, S.Suzuki, T.Tanaka, Bull.Chem.Soc.Jpn., 43, 2656 (1983) [協]

注) 推薦書は毎年更新していますので、2022年度のものを使用してください。

整理
番号

2022年度 女性化学者奨励賞候補者推薦書

年 月 日

日本化学会会長 殿

_____ 部会

_____ 部会長

または

_____ ディビジョン

_____ 主査

下記の者を女性化学者奨励賞候補者として推薦します。

候補者	候補者氏名	(ふりがな) (日本語) (英語)	会員番号		
			生年月日	西暦 年 月 日	
	勤務先と職名	(日本語) (英語)			
	勤務先所在地	〒 Tel. E-mail			
	最終学歴		学位		
	連絡先	勤務先・自宅(どちらかに○印。自宅の場合のみ下記に記入)			
	現住所 (自宅)	〒 Tel. E-mail			
研究題目	(和文)				
	(英文)				
過去における 受賞歴					

(注) 以下、年号は全て西暦で統一して下さい。

研究歴 (職歴を含む)

用紙が不足の場合は適宜足して下さい。

業績内容の説明

研究題目	
1. 研究成果の概要 [1,400字以内にご記入下さい。]	
用紙が不足の場合は適宜足して下さい。	

2. 化学の専門性を活かした研究の特色、独創性、国内外における当該研究の位置づけ、研究状況、国内外での研究活動・交流を通して我が国の女性化学者の地位向上に寄与したことなど。反応式、構造式、図・表などを含め、具体的かつ簡潔に4～5枚(8,000字以内)にまとめて下さい。

用紙が不足の場合は適宜足して下さい。

業績リスト

以下の項目別に、新しい年代順にご記入下さい。

- 1 当該研究に関連のある主要な論文（総説を含む）20件以内。論文と総説に分けてご記入下さい。
提出論文には○印を付記して下さい。
- 2 全原著論文（ただし、上記の論文との重複は避けて下さい。）

用紙が不足の場合は適宜足して下さい。